

平成18年度の気象状況

平成18年度については、春先の日照不足が特徴的でした。れんこんの生育も2週間程度遅れがあるといわれていますが、これは春先の日照不足と低温が大きく関係していると推察されます。

日照量について

本年度の日照量については、時期によっては平年の6割程度と、非常に日照が少なく推移しています。特に長期間日照が少ない時期が続いたことから、れんこんの充実不足と生育遅れが懸念されています。今後、気温が上昇し、日照量が増えると生育も旺盛になってくるかと思われませんが、当分の間、この影響が残りそうです。

気温について

本年度の平均気温については、グラフから見るとほぼ平年並みでした。ただし、朝方の冷え込みは、例年より厳しかったことから、最低気温は平年より低かったのではないかと思います。

